

気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関する委員会
「令和5年度 土木学会北海道支部 年次技術研究発表会 特別セッション」

土木学会北海道支部では、北海道のような気候変動災害脆弱地域において、過去の降雨や地震履歴、経年的に変化する地盤の特性を反映できる手法を検討し、災害リスクの総合的な評価手法および対策法を確立することを目的に、平成31年度に「気候変動脆弱地域における複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会（第1期）」を設立し、現在、2期目（令和4年度～6年度）の活動を開始しております。

令和4年度は、土木学会西部支部主催の合同シンポジウムを開催し、学際領域を超え、気象学、地盤工学ならびに水工水文学に関する最新の情報収集、それらのデータ解析を行いながら、気候変動に伴い変化する複合地盤災害の潜在的な被災危険度について議論しました。

令和5年度は、土木学会北海道支部 年次技術研究発表会において特別セッションを設け、この問題の対応策を議論します。

記

- 主 催 : 土木学会北海道支部
(担当: 気候変動脆弱地域の複合地盤災害のリスク評価に関する研究委員会)
- 期 日 : 2024年2月3日(土) 12:50~14:20
- 会 場 : かでる2・7 (札幌市)
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル

問い合わせ先: 公益社団法人土木学会北海道支部 事務局

〒060-0061

札幌市中央区南1条西2丁目南一条Kビル8F

TEL: 011-261-7742

FAX: 011-251-7038

E-mail: hjsce@olive.ocn.ne.jp

委員会幹事 室蘭工業大学 川村志麻
北海学園大学 所 哲也

プログラム (20240203)

1. 委員長 挨拶 (12 : 50～12 : 55)

北海道大学 石川 達也

2. 話題提供 (12:55～13:25)

12:55～13:10 災害をもたらす線状降水帯の現在地

北海道気象技術センター 松岡直基

13:10～13:25 近年の豪雨により周氷河斜面で生じた斜面崩壊の発生場と形態

北海道立総合研究機構 石丸 聡

3. セッション発表

座長 所 哲也 (北海学園大)

13:25～13:35 北海道で発生した地盤災害とその傾向

川村 志麻¹, 弓山 隼豊¹, 山崎 太地¹
(1. 室蘭工業大学)

13:35～13:45 機械学習による地域特性を考慮した広域斜面災害リスク評価

石川 達也¹, 小野 廉¹, 上野 智生¹, 笠間 清伸²
(1. 北海道大学, 2. 九州大学)

13:45～13:55 シルト質土の非排水せん断強度に及ぼす初期せん断応力載荷時間の影響

藤崎 美幸¹, 川尻 峻三¹, 川口 貴之², 廣岡 明彦¹
(1. 九州工業大学, 2. 北見工業大学)

13:55～14:05 超過洪水による越水時の堤防侵食に関する遠心模型実験

鬼丸 颯人¹, 山下 航暉¹, 川尻 峻三¹, 林崎 翔汰², 廣岡 明彦¹
(1. 九州工業大学, 2. 北見工業大学)

4. ディスカッション (14 : 05～14 : 20)

座長 所 哲也 (北海学園大)

5. 閉 会 (14 : 20)